京城新報

●新聞料 ▲一部二錢▲一ヶ月前金參拾五錢●三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月金拾錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回金三十錢▲四號活字十四字詰一行金四十五錢
●陰曆 三月 五日
發行編輯兼印刷人 山下
京城西署西小門通
發行所 京城新報社 電話六六三番

●統監政治の不振（大阪朝日）

スチーブンス氏が日韓協約の犧牲となりしは、眞に氣の毒の至りなり。これといふも彊ち兇徒のみを責むべくもあらず、實は統監政治不振の責なり。統監政治は何を爲しつゝあるか、形式の整備に汲々たる外、未だ何等の實績を擧げたるを見ず、氣長に氣長に統監政治の効用を待ち居るも、恐らくは人をして堪忍袋を破裂せしむべし。其の桑港に於ける暴行の外、中樞院參議尹吉炳なるものゝ奏議も馬鹿々々しきの至りならずや。畢竟日本を輕侮するの餘、此の擧に出でたるものに外ならず。日本を代表するものは統監なり、統監は陛下の威信を韓國に有するや、其の懷柔手段は對手を見るを要す、統監も大概經驗を積みし筈なり、現日韓協約も僅に閻魔顏の下に漸く成立したるにあらずや。終極の目的が最善にあれば其手段は最も適當なるものを取るを要す。古人も應病與藥と云へり、其の韓人に對するもの、支那人に對するもの、歐米人に對するもの、皆手心を要す。臺灣生蕃に對する手段と、文明人に對する手段は自から異らざるべからず。韓人に對する手心は自から手心あり、之に日本式模型を以て法制を整へ、又懷柔を行ふ、迂愚も亦甚だし。例へば日本人を官吏とするにも、直に大臣とする能はず、次官を以て甘んじ、又次官たるものも自ら次官然たり。自ら侮つて人之を侮るとは古人も言へり、宜なるかな、今に至りて日本官吏を淘汰せんと上奏さるゝ。由來韓人に獨立的機能あるや否や、五百年の歷史は皆事大のみ。故に恐しく巧柔滑智に長じ、他の虛隙に乘じて奸策を弄す。地方に今に暴徒の絕ねざる、桑港に兇行の暴發せる、知らず其の淵源皆韓京にあるを。鶴原長官の談なりといふを聞くに、京城に正義軍同盟會なるものありて、頗る勢力あり、最も排日に力むと。抑も斯るものを存在せしむるが間違なり。今度桑港の兇行にも、韓京より檄文を傳へたりと傳へ、又桑港より最も激烈なる排日的雜誌を韓京に送りたりと傳へ、其の聯絡自から見るべきあり。而して之に宣敎師連の加擔する、稍排除に面倒なるも、元來が韓城肅淸の緩漫なるが爲なり。元來が對韓政策の優柔なるが爲なり。彼等をして幾分にても術策を用ひしむるの餘地あるが爲なり。彼等をして一切を斷念せしめざるが爲なり。日本の韓國を保護する、原形其の儘に保護せんとするにはあらざるなり、第一は日本自らを救はんが爲なり。韓國の如きをして放任せしめ置けば、將來第三第四の大戰爭を惹起せしむるやも知れず、故に消極的に韓國を救ひ積極的に日本自身を救ふもの、是れ韓國保護の眞意なり。然るに統監政治の形式的、懷柔的、因循的なるが爲、韓國朝野をして尙何等かを夢みしむ。是れ韓京に正義軍同盟團あり、地方に暴徒あり、桑港に兇行ある所以なり。人他國の例を引き、韓國統治の成績急に擧るを望むは間違なり。波蘭すら今に獨逸に反抗し、貨物のボイコットは勿論、獨逸政府をして手古ずらするにあらずやさ。然り其の通りなり、然れども波蘭と韓國と比するは、何ぞ其の不倫なるや。彼れはコスチウスコの如き愛國家ありて最後まで戰ひたり。然れども幾分割され了りたり。波蘭人の富は、今日其の首府ワルソーを見ても知るべし。韓國果して之に比すべきか、彼等が蠢動するは、益々韓國をして窮地に陷れしむるものなり。若し愛國の精神、獨立の要素あらば、決して今日に至らざりしなり。日本も日淸日露の大戰を行はずに濟みたりしなり。今となりて韓國何の蠢動かある。之を蠢動せしむるは、蠢動せしむるものゝ罪なり。吾人は之を統監政治の不振に歸す。スチーブンス氏、若し自ら統監政治の今日を來せしとせば、今日の事、自業自得のみ。

●仁川港明治四十年貿易の概況（一）

第三節 貿易額の國別

輸入

國名	四十年	同三十九年度
日本	一一、一九二、二六四	八、四六七、九八〇
支那	三、七七〇、八四八	三、五三〇、七四六
露西亞	三三、三五六	五〇〇
英吉利	三、〇八一、二〇三	二三、二四六
北米合衆國	二、四五六、七九二	二、一一三、〇三三
其他諸國	二六、七九五	一

初年度に於ける日本との輸入貿易額を昨年に比較すれば二百七十二萬四千二百八十四圓を增加せり而して其增加の主因はシーチング綿織糸、石炭、木材等の最重要品が韓國發展の趨勢に伴ひて著しく增加せる爲めなり又本年支那よりの輸入額は昨年に比して僅かに二十四萬餘圓を增加せるのみなり而も其輸入重要品中絹布及麻苧布其他に於て增額優に百萬圓を超過せるを見ば玆に異樣の感なき能はざれども是れ全く本年九月に於ける貿易統計法の改良に基きたるもの從來の統計法によれば貿易國別は必ずしも其生產國に依らずして是れを最近經由國によりて區別せしを九月以來全然之れを廢し生產國別となせし爲め從來支那より輸入されたる多額の英米生產品は玆に支那より除かれたるを以てなり露國よりの輸入が三萬三千餘圓を增加したるも亦是れによるものにして殊に貿易品其物の實際に於ける增加を示せる所以にあらず英國より輸入が昨年度の二萬三千二百四十六圓なる少額より一躍本年度の三百八萬一千二百〇三圓なる莫大の增加は主として前記統計法の改良に基きたると本年同國產綿布類が殆んど一倍の輸入增加を來たせるに因るものなり同時に合衆國及其他諸國よりの輸入增加せる亦皆前記統計法の改良に基きたるものなり

輸出

國名	四十年	三十九年
日本	二、七七九、二一九	一、六六七、七三八
支那	二、一一四、四九三	五八二、二六三
英吉利	九六八	一
露西亞	三、五三〇	一三五、八〇四
北米合衆國	二、一一七	二三五
其他諸國	四、八六六	一

前表によるに本年度に於ける對日本輸出貿易は昨年度に比して百十一萬一千四百八十一圓の增加を來せるは是れ昨秋に於ける收穫良好の結果米の輸出著しく增加したるに因るものにして對淸貿易が昨年に比し一百五十三萬二千二百三十一圓なる大々的增加亦一方米の輸出增加したると他本年十月中近來見ざりし紅蔘の一時に百餘萬の輸出を見しに因るものなり

●ステッセル裁判

▲ステッセル最後の辯解

今日（二月十八日）は愈辯論の終結と知られたれば法廷も何となく打濕りて見ゑたり先づステッセル、フォーク、レイス、スミルノフの辯護士等が交る〲辯論を鬪はしたる後、裁判長はステッセルに向ひて、

「ステッセル中將、貴下に最後の辯論を許さる。辯すべき所なきや」

と問へば、ステッセル將軍は少時の休憩を請ひたる后、やをら立ち上り頗る莊重なる語調を以て其の最後の陳述を爲せり。

「千九百四年十二月十九日（一月一日）午後三時四十分我が大獅子窩は六度の突貫に據りて敵の手に落ちたり。十二月二日（十五日）より十八日（三十一日）に至るまでに第二、第三堡壘と支那城壁と第三壘壕とは敵に占領せられたり。第一防禦線及び大獅子窩の陷落と共に要塞が事實に於て日本軍の手に入りし時、被告は、何事が露國の爲に貴きやてふ問題を決定せざるべからざるに至れり。則ち既に敵の手に落ちて要塞たるの資格を失ひたる無益の旅順を尙數時間持續せん爲に、要塞兵と住民とを悉く敵の屠殺に委すべきか、或は又旅順を速かに敵の手に渡して尙國家の爲に盡し得べき是等の人命を救ふべきか。被告は其一を選ばざる可からず其の何れに決すべきかは皇帝より被告に委ねられたる所なり。被告は遂に二萬の士卒が疲弊困憊せるにも拘らず尙好經驗を得たる忠良の軍人たることを認め、其の生命の最も貴重なるものなるを認めて、則ち玆に開城談判使節を遣はしたるなり、被告は玆に、旅順が開城したる事に非ずして、被告に據りて開城せしめられたるものなるを斷言す。是れ全く眞實の事にして、若し開城の責任を負ふべくんば被告一人其の責に當らん。被告は確信す、若し被告にして開城を敢てせざりしならば、各將校士卒は何等顧慮する所なく進んで死地に就きしなるべし。然れども同時に彼等は又被告が徒らに個人的名譽心の爲に彼等を死地に遣はさゞることを確信したり。旅順の戰闘は必ずしも其の防禦者の血を以て償はざる可からざるものにあらず。彼等は尙生き殘りて榮冠を受くるに堪ゆべき總ての事を爲したり。何人と雖も此の權利を彼等より奪ふ能はず。若し公議の裁判にして救贖の犧牲を要求せば、被告は生を惜む者ならんや。被告の良心に運命を任したる彼の英雄等の生命よりも自己の生命を犧牲にするは被告に取りて遙に容易の業なりしなり」。

右終りてレイス及びフォークの最後の辯論あり。是れにて裁判愈終結したり。

●韓人の叙勲（續）

勳八等瑞寶章　同　同　同　同
金七十圓　金八十圓　金七十圓　同　金八十圓　金八十圓　同　金六十圓
陸軍通譯　同　同　同　同　農商工部書記官六品　大韓新聞社員　陸軍通譯　臨時鐵道撿察使從二品　陸軍參將軍用錢　遞信檢察使從二品　內部技師正三品　農商工部鑛務局長正三品　鐵道局技師從六品　平安道宣川郡守　平壤觀察使六品
勳一等瑞寶章　同　勳一等瑞寶章　同　勳一等瑞寶章　勳一等旭日章　同　勳五等瑞寶章　勳八等旭日章　同　同　勳八等瑞寶章　同　同　同　同
金五十圓　金五十圓　金三十圓　金三十圓　金三十圓　金三十圓
崔錫夏　金眞玉　姜弼成　兪喜吉　孫震元　李範益　李人植　閔政鎬　康洪大　洪淳贊　金倫求　崔桐敦　康永祐　彭翰周　白樂三　朴重陽　李順昌　金正元　晉三鳳　高雲峰　康希元　韓龍樂　白無曜　金丙奎　金東圭　韓爽東　鄭雲復　金周永　李基世　鄭在明

●高等女學校令の發布

曾て記したる高等小學校令は二日裁可を經て發布されたり左の如し

第一條 高等女學校は女子に須要なる高等普通敎育及技藝を授くるを以て目的とす

第二條 高等女學校は官立公立及私立の三種とす

國庫の費用を以て設立する者を官立とし道或は府又は郡の費用を以て設立する者を公とし私人の費用を以て設立する者を私立とす

第三條 公立及私立高等女學校の設置及廢止は學部大臣の認可を受く可し

第四條 高等女學校に豫科及技藝專修科を置くを得

第五條 高等女學校の修業年限は三ヶ年とす

但土地の情況に依りて一ヶ年を延長することを得

豫科及技藝專修科の修業年限は二ヶ年以內とす

第六條 高等女學校本科に入學するを得る者は年齡十二歲以上にして普通學を卒業したる者又は之と同等の學力を有する者とす

豫科に入學するを得る者は年齡十歲以上にして普通學校第二學年修了以上の學力を有する者とす

技藝專修科に入學するを得る者は年齡十五歲以上とす

入學年齡及學力の制限は現今の間は前三項の規定に依らざることを得

第七條 高等女學校の敎科書は學部にて編纂したる者か又は學部大臣の認可を經たる者を用ふ

第八條 高等女學校には授業料を徵收することを得

第九條 本令の規定に依らざる學校は高等女學校と稱するを得ず

第十條 高等女學校に附屬幼稚園を設ることを得

第十一條 本令施行に關する規則は學部大臣之を定む

附則 本令は頒布の日より施行す

世評の眞價値

讀者文壇 投書歡迎

史僻生

豐臣秀吉と奈翁一世と比較して、何れが其人物大なりやと論ずるもの多し、其言ふ處數年前日本が未だ強國の列に入らざりしときに於ては、奈翁一世は秀吉に優る數等なりとの說多かりき、日露戰爭後に至りては俄然として其所說轉頓せり、秀吉の人格は奈翁に優る幾等也と、其說明を聞けば、秀吉は奈翁の如く猜疑心なく、無邪氣にして雅量あり、秀吉の心懷洒々落々些の停滯なし、奈翁は偏狹にして人言を容るゝ海の如き大度量なし、秀吉外征の目的は支那四百余州にあるも、其人格は大にして世界的也奈翁は歐羅巴を統一せんとしたるも、人格小にして佛蘭西伊太利の奈翁也と、嗚呼何ぞ批評の輕薄なるや、其國の強弱によりて批評を異にす、前には奈翁豪く、後には秀吉豪し、世評は槪して斯の如きもの乎

僕は秀吉と比較するには、却て歷山大王を以て恰當なりと信ず、歷山大王遠征を企つや、自己の所有せるもの盡く郞黨に與ふ郞黨王に向て陳ずらく、大王の所有物皆人に與ふ王の持てものは一もなからむ、大王曰く我は遠征によりてより多きを穫むと、秀吉が四百餘州を取りて、日本本土を皆部下に與へんとせし心事と能く似たるや、嗚呼秀吉をして壽を長からしめば、少くとも韓半島は地圖の色彩を變更せしめしならん時非にして英雄を思ふと異なる哉

小說 紘のみだれ（百九）

永井櫻

「そりや飛んだ事ちやつたな、私も彼是十日あまり床に就いたが、漸く三四日後に起きたやうな事だ……モゥ斯うして出歩くやうになつたから、全快したも同じ事は同じ事だが、どうもまだ酒が思ふほど飲めないので難儀つてる。」

勇五郎はれ縫の酌んで出す茶を一口吸つて

「時に山田さん、今日は些と相談があつて來たがね、御承知の通り戰爭以來世の中が大變不景氣になつて、店の商も更り駄目だし、それに今云ふ通り十日あまりも床に就いて、店の事は勿論、病氣の世話して下れるものも無いから、看病人を賴むだり、大醫士も二人まで來て貰ッたりしたので、大分借金を作へて、月末になりやあその借金を返さなきやあならず殊に今月は極月だから、正月の準備も爲なきやあならず、彼是やで五十圓ばかりなきやあ年が越されないが、れ前さん所でも暮やら、春の準備やらでいろ〳〵要費もあるだらうけれど、れ縫を寄來す節に堅く約束して置た通り、病氣や不時の災難なんかあつた節は、助けて貰ふ事になつて居るで、れ氣の毒だが廿七日頃までに、どうぞ五十圓だけ都合して貰ひたいと思つて、賴みに來ました、甚麼なもんだらうな。」

と、勇五郎の氣性としては、甚くまで優しく賴むのである、山田はハッと驚きながらも、勇五郎が言ふ如く、病氣の節は如何樣にも助けると約した辭があるゆゑ、假令その費用が五十圓要らなかつたとするも、斷る事のならない義理になつて居るのみか、金子の高を減じて下れとも云得ないのであるる何故と云ふに、若も五十圓は調達ないから三十圓で辛抱せよとでも云はうものなら四方近所へ知れよがしの大聲で、不孝呼り薄情呼りをして怒鳴散すを知つて居るからである、あらずとも年末の事とて、金子の不足に困りつゝある中ゆゑ、それも五圓か十圓なれば、又工夫の附けやうもあれぞ五十圓と云ふ大金を受合つて、迚も調達は覺束ないと心に案じながら、斷りかねて、

「宜しうございます、どうにかしてその頃までに調達へる事に爲ませう。」

「だが、山田さん、空受合ちや困るよ、若も月末になつて出來ないなんと云はるゝと私は首でも縊つて死なきやならないからね、れぢや、乾度二十七日までに五十圓調へて下れますね。」

と、毒々しく念を押す。

「受合ひましたからには、假令私の方の拂を待たせましても、貴方の方へは差上げます、しかし日限に二十七日と云ふ事が確で受合かねますから、一日位は遲くなると思つて居つて下さい。」

「いゝや、それは不可、私の方でも大醫士を始め、方々へ拂ふ金子なんだから、何時何時と確な事を極めて置て貰はなきや先方へ挨拶の爲やうが無いが二十七日より、早いのはいくら早くても可いが、それより遲くなるのは困るのぢや、何しろ常の月と異つて十二月だからね、拂も拂ひだが、自分の家でも正月の準備爲なきやならんから、確に二十七日と極めて置て貰ひたい。」

山田はムカ〳〵する胸をジッと堪へ、無情な人に問答は益なき事と、

「宜しうございます、では確に二十七日までに調達へませう。」

れ縫は養父の顏を忌々しげに眺め、良人の胸中を察して漫に氣の毒に感ずるのである

「では、乾度賴みますよ。」

と、勇五郎は心密に歡びつゝ、挨拶も匆々に歸つて了つた。



明治二十年創立
日本火災保險業の開祖
資本金壹千萬圓
東京火災海上運送保險會社
社長駐在所京城本町二丁目

京城新報

統監府を廢せ

統監とは如何なることを爲す官名であるかと問はゞ、韓國に於ける我統監は、韓國の攝政であると答ふる外なし、既に韓國の攝政である以上は、韓國の施政は自由に運用する權能を有する者也、然らば在留帝國民との關係如何、之れ大に研究を要する問題也、現時の統監政治は此關係明かならず、在留帝國民に對する方針確立せず、稍もすれば在留帝國民は韓國本位てふ鐵鎚の下に犧牲に供せられんとす、[illegible]する曖昧なる態度は、畢竟制度の不完全なるに基因せずんばあらず、[illegible]

一統監府を廢し統監は純然たる韓國の攝政と爲す事
一大官及其他の日本人官吏を一齊廢止して[illegible]
只大官に留帝國の保護機關として殖民府を設置し殖民大守を置く事

斯の如く改革したなれば、其間鮮明にして韓國本位の[illegible]く、亦韓國の施政も擧がり、帝國の殖民も發達すべし、事は簡明なるを要す、殊更に多額の費を投じて[illegible]の政策を繼行するの恐れあらんや、敢て當局者の猛省を促す

●漢城便り

▲統監府の官制は縮少の方針を以て近々改正せられ候由可然事に被存候縮少が如何なる程度に及び候や[illegible]記者は其全廢を主張[illegible]

▲縮少の結果冗員となるべき諸氏の處分は如何相成るべきか甚だ心元なく[illegible]

[illegible]

斯る日先の見込の事を爲す程愚なる代物には無之候

▲太皇帝の敏なる大磯邊にて審訓されたる英帝の筋書は已に御病氣と相成られ申候ステーブンス氏の暗殺せられたるに付ては番狂はせと相成申候

▲一体今頃太皇帝を日本に連れ申したりとて何の益あるべき之が抑の疑問に有之候讓位前なりせば兎も角今となりては已に遲しと申度候

▲韓の排日は已に國民的と相成居候亦組織的と相成居候太皇帝あらざるも彼等は相應に活動致すべく況んや太皇を拉し去らるればソレを口實として益々活動致候事と存候

▲大審院長控訴院長檢事長其他の司直官に邦人を採用したる今日に於て韓政府が邦人の裁判上を公認すべきは勿論の義に有之而して韓語同樣日本語を法廷用語に公認する事の本來至當の次第に御座候

▲如何に完全なる法律や裁判制度が出來たりとて韓民は無之候何となれば韓民は完全なる法律裁判の保護を必要とする貴重なる身命財産を所有し居らざる故に有之候

▲只大審院や控訴院が他日治外法權撤去の準備として設置せらるゝならば夫は別問題にして記者も其設置を非認致間敷候

▲農商工部工業傳習所は韓本位の伊藤統監が日本商品驅逐の目的を以て設立せられたるものにて同所にて韓國の陶器を公にした[illegible]燒の陶器を公にした[illegible]て聞かず相成申候同[illegible]待井事件の關係者を[illegible]追せられ居候

▲[illegible]天日製鹽の試驗に勉せしめ度者に候只當[illegible]の鹽を製出するに止[illegible]候記者は天日製鹽に[illegible]し居候因て以上の言[illegible]申す本紙が報導致し[illegible]確なる根據を有し居候本紙の報せし通り[illegible]るは伊藤統監にして[illegible]京城日報子へ一層の[illegible]

東京電報

▲有栖川若宮御薨去

有栖川若宮殿下は一時御危篤に陷らせられしも漸次御快方に渡らせらるゝ旨承り居りしに江田島海軍兵學校に御入學中の有栖川栽仁王殿下には其後御病氣榛撰らせられ昨夜御逝去あらせられたり(四日發)

▲宮中の神武天皇祭

本日の宮中祭典は陛下御病氣に付岩倉[illegible]東宮妃殿下は正親町女官に御代拜を仰せ付けられ東宮殿下には親しく御拜あり皇后陛下は御拜御代拜共に在らせられず

▲内親王御慶事

二十七日常宮竹田宮御慶事擧行あらせらるゝに付委員長に花房義質其の他各委員仰せ付けらる

▲シドニーのボイコット

濠州のシドニーにて一時日本品排斥の傾向ありしが漸く鎭靜に歸したり

▲常陸山の滿韓視察

米國より歸來せし常陸山は近々滿韓視察の途に就く事となれり(以上三日發)

▲加奈陀移民官

昨日來京せし加奈陀特派移民官ヅルリー氏は今日英國大使と同伴にて林外務大臣に會見し移民制限の方針に就き打合たり

▲歸還兵の慰勞金

韓國より歸還の途に在る駐韓兵は歸隊の上除隊となり慰勞として金十圓乃至三圓宛を支給せらるべし

▲贈位の御沙汰

本日左の通り贈位の御沙汰ありたり

贈正一位	贈從三位	毛利 元就
贈正三位	故從三位	小早川 隆景
贈正三位	從故四位下	毛利 隆元
贈正三位	故從四位下	吉川 元春
贈從三位	故從四位下	毛利 成就

右は何れも特旨を以て位階を追贈せられたるものなり(以上二日午後發)

平壤電報

▲載寧の衝突

去る二日午前十時二十分着の電報に依れば吉本憲兵特務曹長の率ふる枝隊は三月三十一日載寧郡下方面に於て賊を發見し追跡する事三里餘賊一百と衝突す賊の死八負傷二十二鹵獲品多數我に損害なし屍体は洞長をして假埋葬せしむ

雜報

●森林法施行細則の發布

森林法施行細則は既に副統監の承認を經近々農商工部令を以て發布せらるゝ筈なり而して既報の如く森林産物處分規則も判定せられたれば本規則の發布を以て森林に關する法規は完備となるべし

●中樞院會議と物議

中樞院贊議尹吉炳が建議せし六ヶ條の内徴兵令は否決し其他は内閣に廻送せりとの事なるが右に付現今日本人の官職に在る者の内次官局長を除き其他は總て解職さすべしとて物議騷なりと云ふ

●侍從補の撰擇

李完用氏は此頃侍從補六人を撰擇中にして老論中より三人少論中より一人北人より一人南人より一人補充することにせしが南邊北邊の物議には此侍從補なるものは前奉侍の聽なるを以て重職なりと思料し自己心腹の者のみ決定し兩班の品位迄滅亡せしむるなりとて評論藉々たりと

●金允植就官説

金允植氏は承寧府總管に任命せらるべしとの風説あり

●李址鎔の一進會入會説

中樞院顧問李址鎔氏は突然一進會員たらんと決し會員名簿に登錄のことを請求せり然れども同氏は人の問に對しては然らずと答へ居れりと云ふ

●日本祭日と韓官廳

從來日本の大祭日には韓國官廳は或は休廳するものあり或は執務するものありて一定せざりしが過日參與官會議の際の問題に上り日本の大祭日は韓國官廳の休暇日とすと決定する迄は各官廳とも執務する事に申合せ一昨日の神武天皇祭には何れも出勤執務せり

●張博の恐惶

趙重應が張博の運動事件に對し一々沮戯構誣するより張博は他人に對し語りて曰く趙重應には亡命前も又日本に在りし日も大に便宜を與へたる者なるに其恩を忘れ今日の吾に對する所爲は甚だ其意を得ずと逢ふ人毎に話し居れりと

●宮禁令違犯

成均館長金有濟は一昨一日門票を携へずして陛下供奉員に混じ大漢門より德壽宮に入參し皇宮警察の手に取調べられたるが陛下德壽宮へ行幸のため拜迎すべき旨宮内府より達せられたるを以て門鑑を有せずとも入門に差支なしと思料し入門したるものにして恐縮に堪へざる旨申述したるを以て警察官は將來を嚴戒して放免したりと云ふ

●清津港界

本月一日より開港されたる咸鏡北道富寧郡清津港の港界は高抹山角より正面に引きたる一直線以内と定められたり

●清津税關支署の開廳式

清津税關支署は本月一日より開始せしが同支署に於ては二日正午開廳式を擧行し來賓は關税總長代理阪出工事部長野手元山税關長外百五十餘名頗る盛大なりしと

●清津開港式の盛況

清津開渡式は三日に亘り盛大を極めたる旨其筋へ電報ありたり

●仁川港内の挂燈浮標

關税廳に於ては今回仁川港内の中央は漸延せる沙堆の南西端の位地を示す爲め大低潮時の水深二尋四分の三の所に挂燈浮標一箇を碇置されたり同浮標の構造は鐵造の圓錐形黑色にして頭部に燈器を戴き燈火の中心は水面より高さ十一尺あり燈火はピンチ式瓦斯白色明暗燈(無等)にして全度を照輝し燈光發射の時間は八秒週暗の時間は四秒其光達距離は五海里なり而して浮標より測定せる磁針方位は小月尾島燈臺は北二十五度東甕島の△は北方六十五度三十分東納島四十七呎高地は南八十四度五十五分東なりと

●大和島燈臺の點燈

韓國西岸平安北道宣川灣沖大和島の燈臺は結氷中點燈停止中なりし所去月十一日より點燈を開始されたり

●新設憲兵分遣所

今回增派せられたる憲兵隊は去る三月二十七、八、九、三十日に仁川、釜山、元山、城津、清津の各港に既に到着上陸し新設せられたる分遣所百ヶ所に收容任務に服すべく出發し任地に向ひつゝありと

●郡邑盡く燒かる

三月廿三日江原道旌善守備兵が三涉方面に引揚後賊徒襲來の風説あり警察隊に於て警戒中廿六日午前五時半頃約四十名の賊團同地巡査駐在所の裏道を通行せしに誰何せしも答ふる所なく其の影を失ふ駐在巡査は含内に入りて戰の準備中果然賊は背面高地より一齊射擊を開始し交戰三時間午後十時に至り賊の銃聲沈默に至りしを以て敵狀を探りしに彼等は高地北麓邑内五六丁の地點に集合しつゝあり此の間に於て必要の書類物品を纏めて一先現場を引揚げ平昌守備隊に急報せしに守備隊長綾部中尉以下十五名即時出發翌廿七日午前七時四十分旌善邑に着せしも此時は既に賊徒は邑内三四戸を殘すの外全部を燒毀し珍富方面に退却せし後なりき依つて守備隊は直に追擊に向ひたり

●素砂に賊現はる

一昨日午後九時頃素砂を距る約一里の韓人部落に約十名許りの火賊現はれたるが駐在巡査部長松崎氏は巡檢二名を指揮して賊と交戰二十分にして遂に潰走せしめたり

●漢江沿岸の暴徒

近時忠州警察署及び原州警察分署管内に屬する漢江沿岸に於て時々賊徒の出沒あり被害頗々たるを以て巡査を派して警戒中の由なるが最近の被害を見るに三月十六日頃より十九日迄の間に於て牧溪下流六里の地點にて穀物積載の韓船四隻掠奪に遭ひ同廿四日下流五里半の地點にて日人輸送の穀物價格百六十餘圓掠奪せられたりと云ふ

●民團豫算の認可

京城居留民團豫算は理事廳を經て統監府に認可申請中の所昨日を以て認可されたり

●仁川第二公園起債不認可

既報の如く仁川第二公園に關する起債の件は認可されざりしが民團理事者の意嚮を聞くに兎に角新設に對する認可を經て其費用の出途並に着工期日に就ては尙熟議する處あるべしと

●仁川舟車税に就て

仁川居留民團税規則の中舟車增税の件は既報の如く多少更正されたるも右は範圍を縮少したるに過ぎざる爲め本年度の歳入豫算には何等の影響なしと云ふ

●仁川女學校の認可

過般認可の京請中なりし仁川女學校の件は認可を得たるを以て愈々高等女學校選科として開始すべく追つては高等女學校案制に依りて諸般の設備を爲す筈なりと云ふ

●清酒運輸の交渉

從來清酒の輸送は仁川より南大門まで噸扱は二噸にて三圓八十錢にて個扱にては一個四十九錢に當り居たるが今回運輸課にては内國通運會社に限り斤扱ひにても一樽十五錢の割合となしたるが仁川運送組合にては内國通運にのみ如斯利益を與ふるは不當なりとし昨日幹事立石氏をして南大門運輸課に交渉せしめたるが仁川運送組合にも此特點を與へらるべしと云ふ

●大豆と清商

昨今清商の大豆を購入する者日に增加し從つて市價に時ならぬ變動を來すこと尠からざるが這は從來鹽其他の日用品を與へて大豆と交換し居たる支那商は過般來沿岸密貿易の監督頗る嚴重となりし爲め遂に怖氣づき競に市場に於て購入することゝなりたる爲めにして年々の總額は侮るべからざるものありと云ふ

●警務局茶話會

内部警務局は事務の統一を圖り局員相互知識交換のため茶話會を設けたる事は既報の如くなるが昨日第二回の開會をなし席上窪谷警視の京義鐵道沿線地方視察談及び既報事務打合のため上京せる各地方警察署長の談話あり盛なりき

●李退溪祠の再建

韓國人が最も欽仰する韓國有數の學者李退溪の祠は其古宅慶尙北道關里考亭にありしが曾て火災に罹りて烏有に歸したるを以て退溪の德を慕ふの士人は其事蹟の湮滅せんことを嘆じ今回大方の義捐を得て更に其祠を建設せんとて在大邱の慶尙北道書記官氏野理事官其他日韓人發起となり目下義捐金募集中なり

●韓國に於ける臺灣鹽

臺灣鹽會社は資本金六萬圓を以て去二十七年十月釜山に設立せられ三十八年度に於て四月に四十三萬六千斤七月に四十二萬九千斤の本島鹽を輸入せしが當時韓國人は松葉焚き製の半黑色の韓國鹽をのみ鹽と思ひ純白色の本島鹽を見ては愕然として藥とし誰一人の買手なきより廣告的に無代價に分配して其效用を知らしめたり翌三十九年三月會社は遂に收支償はざるより賀田組にて之を讓りうけ絕影島に工場を建て本島鹽の碎潰し及再製の營業を開始せしが韓國人も漸く本島鹽の良好を知り初めたれば日一日賣れ行きよく三十九年度に於て千四百六十九萬九千八斤を輸入せり本年度は初期に於て彼の暴徒のため大打擊をうけ八百八十六万四千斤を輸入せしに止まりしも去月頃より本島鹽の眞價洽く知れ亘り京釜鐵道線路に沿へる住民一般は勿論日本海に面せる地方は雄基灣に到る一體沿岸の住民迄遙かに本島鹽を歡迎することゝなり即ち昨年二月の賣高は四十萬斤なりしものが本年二月は百一十萬斤の賣高を見るに到れり左れば内地鹽の如きは固より競爭すべくもあらずして本年度に於て僅かに五百俵を博多より輸入せしのみ故に本島の供給さへ潤澤ならば韓國に於ては殆んど限りなき需用ありといふも不可なし現に會社はすでに元山に支店を設立し仁川にも又支店を建設しつゝあり來月上旬完成すべく向後大に販路を擴充すべき方針なり尙ほ來年度は三千萬斤輸入の見込なりと云ふ

●龍山家賃地料輕減期成會

池上營之助、恒川謙三郎、江守清次郎、笹部李右衞門等の諸氏發起となり來る六日龍山座に於て同會の目的を達する手段として大演說會を開催せらるゝ由なり

●外國語學校々友會

外國語學校出身者にして在京中の人々は去る二日午後七時より日本人商業會議所に於て校友會を兼ね茶話會を催ふせり席上國分秘書官の清國の對韓政策の講話及び統監府囑托柳志根氏の二十年以後の同校卒業者に對する訓戒其他談話ありて午後十一時散會したるは頗る盛會なりし當日重なる出席者は國分秘書官、川上、新莊、鳥居、多田の各通譯官峰尾晋三郎氏等三十餘名なり

●近事片々

▲春風● 駘蕩漢城政界茶話會の流行となる名は茶話會なれども其實政權持續の擁護會
▲南門● 外関内爽邸に各大臣樞院顧問等茶話會を催すと恐らく尹吉炳事件の跡始末也
▲副統● 監の目玉閣員痛く恐慌樞院顧問に七重の膝を八重に折り拜み倒さん計畫と
▲内部● 警務局一般亦茶話會を催す之等は事務の打合として至極好爽多少の效あらむ
▲曾禰● 副統監地方巡視せられんと巡視とは例の鐵道沿線耳か視察の正鵠を得ば幸也
▲日本● の韓國視察者皆此手で皮想の觀察をなし依之滔々對韓策を說く爲に誤論多し
▲大韓● 每日亦拓殖會社の爲に日本貧民幾百萬人渡來せん虞解說を掲ぐ偕も濟度難也
▲同紙● 讀壬辰誌と題して論ず而も例の煽動的文字の題列耳極東平和を脅す平和の賊
▲强土● 滅虐恐るに足らず人心の眠を怖る權利の蹂躪は恐れず人心の衰を怖ると吐く
▲如何● に煽動するも韓國民全体は矢張り善政の下に安居するを望む秕政革新肝要也
▲統監● 府の失政を攻擊するは可也雖然日本帝國に弓を引かんとするは甚だ心得違也
▲到底● 不能爲事をして藻搔くは愚也日本の圏外を脱する杯迚も許さぬと引導渡置く
▲秘苑● 巻狩の擧行ありと大官人は何處迄も長閑也漢城の天地元來矛盾多しと好謎也
▲米國● 無政府黨の女丈夫ゴールドウイン孃講演の爲に加奈陀に向ふ沿道聽講者甚多し
▲花の● 如き淑女の口より無政府主義の尤も過激なる說を吐く歐米時々斯る女飛出す
▲露國● にも波蘭にも此種の女說客あり花唇を翻へして政府轉覆亦暗殺を說く穴怖し
▲後藤● 滿鐵の人格を慕て京都ミカドホテルに訪た青年有面會の用は只男を見る爲め
▲直に● 退室す奇行を面白く思ひ來歷を探る神戶商業學校の苦學生也男爵乘氣になる
▲學費● を貢がんさす樂斷じて受けず渠偶病む男爵は夫人をして三百五十金を送しむ
▲渠も● 病魔には勝てず余義なく之を受く男痛く之を喜び前途に矚目すと亦一美談也

●元山港の明太相場と取引

[illegible]

	現相場	釜山迄運賃
明太(上)一馱	二三〇〇	九〇〇
明太(中)一馱	二、〇〇〇	九〇〇

以太田、田口の二氏の取扱に係り同港に於ける運賃表を示せば[illegible]尙右の運賃以外同港の艀賃十五錢を要するを以て釜山陸揚迄の運賃及其一切の費用を[illegible]十錢の高價を示せりと云ふ

●北韓大豆の阪神相場

積雪の爲め元山港大豆の出廻りは一時閑散を極めたるが唯今融雪の候となりてより海陸兩面よりの出[illegible]一石に付七圓三十錢より五十錢を上下し輸出大豆の阪神相場は九圓五十錢と云ふ弱[illegible]なるも同港の相場が已に安價なるを以て輸出先きの安唱は左迄の影響を受けずと云ふ

[illegible]大尉を以て勤務せしめ居るも今回咸興に限り少佐を以て任ずることゝなり憲兵少佐石井權藏氏は同所長として出張釜山より赴任すべしと

●辭令

四月二日附左の陞叙ありたり

陞叙高等官三等 統監秘書官 男爵 佐竹 [illegible]
統監府通譯官 前間 恭作

●保姆任用

河合タル子は高等女學校附屬幼稚園保姆を命ぜられたり

理事廳副理事官 佐藤 金助
統監府通譯官 高雄 謙三
理事廳副理事官 大枝 義祐

●元山港の明太魚取引　同港に於ける明太魚取引は其大半は韓人と仲買人との間に於て行はるゝものにして現金取引を主とするも稀れに一ヶ月以内の延取引を見るあり而して此の輸出明太魚は太田、田口の二氏の取扱に係り同港に於ける現相場と釜山輸出迄の運賃表價を示せば左の如し

	現相場	釜山迄運賃
明太(上)一駄	一三、〇〇	九〇
明太(中)一駄	一二〇、〇〇	九〇

右の運賃以外同港の艀賃十五錢を要す[illegible]を以て釜山陸揚迄の運賃及其一切の費用を[illegible]十錢の高價を示せりと云ふ

●北韓大豆の阪神相場　積雪の爲め元山港大豆の出廻りは一時閑散を[illegible]なるも同港の相場が已に安價なるを以て輸出先きの安唱は左迄の影響を受けずと云ふ元山出大豆の阪神相場は九圓五十錢と云ふ弱腰[illegible]一石に付七圓三十錢より五十錢を上下し輸[illegible]

●徳壽宮の活動寫眞　愛國婦人會韓國本部にては一昨二日新王城に於て太皇帝陛下に活動寫眞を御覽に供することゝなり皇族方各大臣女官方陪觀陛下には御不例なるにも拘はらず御設けの御座所に御出御あり例に依りて趙大臣の通譯にて大松囑託御説明申上げ風景、人物、奇術、曲藝等滑稽興味ある活動寫眞を撮影したる後御下賜に係る皇太子殿下御運動御遊戲の御寫眞を御覽に入れたるに非常に御意に召され御側附の話に依れば是にて談話さへ出來れば側に居るも同じとの御諚さへありて御滿悅一方ならず特に殿下の御寫眞は思召に依り再度迄も御覽に供し撮影中絶す侍臣等と御觀談あらせられたり尚本部員へは別室に於て御食事を賜はり一同午後十二時過退闕したり

●賊韓船八隻燒棄す　四月二日夜楊州郡瓦孔面德沼里に暴徒多數來襲漢江岸に碇泊船八隻を燒燬し同面栗里及同郡美陰面書院へ向け逃走したり而して人員は書院へ三百栗里へ三百其他近村面附近を徘徊する者多少ありたるに依り約六百以上にして首魁は未詳なり積載貨物は松枝及松葉穀物(米豆の)類にして内四隻は船体を存し三隻は流れて同里を距る約七丁下流の同郡金村面平邱の南端に漂着しあるも微かに船底を存するのみ他の一隻は片影をも留めず

●暴徒歸順者　去月三十一日甕津郡康翎分遣所へ自首したる暴徒歸順者は總計五十四名なるが今其の住所氏名を掲げんに甕津郡同面下九里溫泉許德夫、同吳成根、同金千秀、同郡馬山面下九里溫泉朴聖和、同金順伯、同聖君先、同林元伯、同咸台玉、同金鳳基、同趙基和、同金龔國、同朴世仁、同崔在辰、同金浩權、同金益俊、同金七里、同五里李洞尹泰成、同尹永俊、同朴斗永、同尹斗吉、同金春甫、同許允明、同金守京、同金容石、同張天瑞、同金明瑞、同金炳夏、同李興錫、同李克在、同河長孫、同朴永守、同吳京植、同金元俊、同趙知右、同黃鐘鳴、同李山右、同李聖魯、同黃鳳奎、同趙七星、同李吉星、同池辰瑞、同朴元七、海州府東門内咸鳳淳、同李昌任、同崔德玄、甕津郡馬山面九里溫泉金行吉、同崔順煥、同咸鳳錄、同金寶根、同柳春培、同李今成、同李正岩、同郭山伊、同韓元明、同李元五

●仁川港出入船舶　先月中仁川に出入したる船舶の隻數及び其噸數を聞に左の如し

		隻	噸
入	滊船	六四	四四一五二
	帆船	三三	二〇五
	ジャンク	二四	三二四
出	同	六三	四一八〇六
	同	四	四九〇
	同	二一	二六七

●血の通はぬ奴　永樂町一丁目五番地福田市作といふは人種から名から正に大和民族の一人には相違なかるべきも其の馬鹿氣た行ひから見れば左樣朝鮮人に毛を掛けた位人間離なるべしサテ此の人間一昨日朝つぱらから自宅をばブラリと出で是れといつて取り止めた用事もなきに時節柄[illegible]官街道を頸筋方面へ[illegible]ブラリ〳〵と泥覗遊をブラつき居りしが近午頃羅司令部前の邊に來りしに偶然にも是も御多分に洩れぬ芽出たやの平素より懇意に寫し居る友人某とデツカリ出會したるより市作は此れは〳〵好い所で逢つた今日は幸ひ天氣も好しソレに聊か懷も暖かくつひ朝からの散歩だが時に御貴公に於ては別に差し當つての用事もなくば拙者と其所迄同行せられては如何美人のお酌も時に取つての斷さ喇しサヽ遠慮なくと許りに車を二臺賴み本町六丁目のある淫賣屋にしけ込み酒や肴と大に發展せしが約三時間許り騷ぎて其の家を出で件の友達と分れし迄はよきも此の先生此の年迄人力車に乘つたゝめしはなく此度が初めてと見ね馬鹿に車に乘りたがり車夫が旦那何の邊迄れ歸りですと尋ぬれば別に何處迄といつて極りはない臺灣迄でもよいとの落語家のいふやうな言葉なるより全く人を馬鹿にした客とは思ひながらもつひ〳〵そこらてゝらを引き廻はせしが日も漸く西山に傾き且つ腹は北山時雨となりし故車夫は銅峴管内の韓人部落に於て轅棒を止め旦那愛で御免を蒙ります時に賃金は何程〳〵になりますと請求せしに奴さん色男を氣取つて居るにも拘はらず威丈高になりてソンナ馬鹿に高い賃金があるものか京仁間の滊車賃が何程と思ふか十里の道を僅か五十錢支拂ふ事は斷然出來ぬ是から警察へ來いと許りに車夫を引き立てゝ銅峴警察署へ訴へ出でし所警官は宛るでアベコベの訴へ出でに大に同人を叱し車夫の請求通りの賃金を支拂はしめ分つたか馬鹿な奴だとの聲諸共に引き下らしめたり

●喧嘩好き　好きは即ち癖にて人の弱點なりとは知る者の知る者にも夫々の好きありて牡丹公の女や板垣伯の相撲などは能く人の知る所にして無くて七癖有つて四十八癖の諺もあり古人に「人毎に一つの癖はあるものを我には許せ敷島の道」の歌もあり十全の神にさへも祟るの惡癖あれば社會に害の少なき癖なれば敢て咎むべきにあらざるも山口縣佐波郡西浦村の者にて明治町三丁目に住へる村井幸四郎(三七)といへるは生得喧嘩好きにて喧嘩といへば一度の飯が三度も餘計に喰へるといふ厄介者なるが去る三日午後六時頃亂醉して明治町二丁目の四辻に於て韓人の擔荷軍二人を相手に喧嘩をなし居れるを巡回の巡査が取鎮め説諭して放還せしに幸四郎は其の足にて同所五十二統五戸の韓人酒屋劉昌奕方に至り主人が醉人と見て謝絶せしをも聞き入れず強いて飲食をなし又も主人及び居合ひの韓人に向つて喧嘩を吹きかけ亂暴せるを再び巡査が認めて取鎮め説諭の上歸宅せしめんとせしに今度は巡査に喰つてかゝり其の外套を引き裂くなど荒れに荒れて始末に了へざるより引つ縛つて警察署へ連れ行きたるが今頃は薄暗い所で後悔して居るや如何に

●入質より騷動　黃土峴二十七統八戸金順元(三三)は先頃少しく金の要り道ある所から衣服二着及び懷中時計一個を附近の典當局朴明允(五十)方に入質せしに近頃金策の出來しより右の物品を質出しせんものと朴方に至りたる所朴は疾くの昔に店を仕舞ひ何れへか移轉せしより金は非常に落膽し附近の者に朴の行先きを尋ねしに更に知る由なく已むなく其の儘に打ち過ぎ居りし所一昨日金が里門洞のある酒舖にて酒を飲み居りしにソレとは知らず偶然にも朴は其の酒舖に入り來りしかば金は丁度好い所で廻り逢つたと許りに物をも言はず朴の胸倉を取り己れ圖太い奴だ全体俺れの品物を如何したかサア愛で渡して呉れもし渡されなければ斯うするぞと懷中より大ナイフを取り出して脅かせしが朴も不意の際とて大に狼狽し飛んだ所で摑まつたものだとは思ひしも什麽せ品物を返へせる見込のなきより假に甕度胸を据へナニ手前からソンナ品物を預つた覺はないと空つ恍けた返事を爲せしより愛に一場の立廻りを演せしが其の際朴は右腕は負傷せしより直ちに警察署に訴へ出でたりと

●又しても無錢遊興者　金はなけれど酒は飲たし飲だ上では何とか分別もつかうなどゝ恐かな了見で無錢遊興をなし詐欺取財犯となつて囹圄の苦役を見る馬鹿者は殆んど日々の如く新聞に恥を晒らしつゝあるに其見せしめが目に入らぬか耳に入らぬか此所にまた愛媛縣松山市紙屋町五十二番地の者にて目下明治町一丁目辻與一方に止宿する田内乙吉(二十)といへるは去る三日の午後九時半頃南大門通二丁目丁飲食店花の屋事岩村信藏方に至り僅かに一圓五十錢ばかりの散財をなして己が大喝すれば亭主は縮み込んで請求書は撤回するであらうとも思ひしは此方のことで朝鮮三界にまで來て營業する者何とて錏一文でも損を爲すべき先方は仲々以て聲の大なるを屁ほどにも思はずこんな稼業をすればこそ貴樣等に天窓も下るが金を拂はぬ奴は糞でもないと一倍聲を大くして責めつくるにぞ有繁に驕慢不遜の乙吉は聲で行かねば腕で通さんと亂暴を始めたるに是れまた多勢に取卷かれ警察署へ連れ出されて一先留置場に預け入れられこゝに赤恥を世間に曝らすことゝなりぬ

●賭博一網　去る二日午後五時頃南署田中部長が清潔法施行監督の爲め永樂町二丁目を巡視の際菓子商岸川爲一抱の空屋に戸締なきを以て覗き見ると其の間にて四五名の者ども圓座を爲して丁よ半よと賭博を興行しつゝあるより其のまゝ外に出でゝ巡査木佐貫幸吉、北山與一の兩名を伴ひ來り見れば先きに戸締なかりし所に内より掛金をなして入るを得ざることゝなり居るより裏に廻りて見ると此所に戸あり押せば開きしより三人は直に侵入して御錠の一撃と共に左の五名の者を逮捕したり

長崎縣長崎市紺屋町、本町二丁目中村ハツ方寄留菓子職　平山辰二郎(二十)
同縣彼杵郡茂木村、永樂町二丁目岸川爲一方寄留菓子職　田川常吉(二十)
岐阜縣郡上郡下川村、現住所同上　菓子職　小森鼎四郎(四十)
廣島縣比婆郡庄原村、櫻井町居留　菓子職　三玉久一(三十)
福岡縣筑紫郡大野村、永樂町二丁目岸川爲一方寄留菓子職　寺坂五郎(三十)

●本日の精神界

▲西本願寺　長谷川町西本願寺布敎出張所に於ては本日午前十時韓國青年布敎として嚴開敎師の「青年と元氣」の講演午後八時より日本人に對し佐々木開敎師の「三世因果」の講演あり向仁川宮町一丁目に布敎所を開き前東京出張所主任佛教大學得業學師苗村幹隆師主任なり

▲メソヂスト教會　旭町二丁目名古屋城内メソヂスト教會に於ては本日午前十時聖書研究、十一時説教あり辯士はバンカー氏午後七時半より曾田氏の傳道説敎あり來聽は隨意なり

▲京城基督敎會　日の出町京城基督敎會にては本日午前九時半より日曜學校を開き同十時半より禮拜説敎午後八時半より傳道説敎あり來聽隨意なり尚演題は左の如し

午前　靈の曙光　米澤牧師
午後　新天新地　同牧師

●出火　去る三日午前七時頃南署明化坊小龍洞十五統十戸酒商李基俊方の入口附近の烟突より出火せしが直に消止めたり

●純正牛乳　南大門外韓國畜産會社の搾取牛乳は是れまで好評を博し來りしが今回更に日本より優良健全なる乳牛を輸入し畜舍の構造飼養法搾乳法器具其他に大改良を加へ最新の學理を應用し益々純正無比の牛乳を搾取し一般の需用に應ずるといふ

●特効藥たむし丸の新發明　東京日本橋區浪花町龍雲堂藥舖にて今回賣出したるたむし丸は内用藥にして伊藤助先生の發明に係り著しき効能あり一度全治せしむるときは再發の患ひなくして驚くべき一大發明藥なれば近頃最も賣行よしと云ふ

●辭令　四月二日附左の陞叙ありたり
陞叙高等官三等　統監秘書官男爵　佐竹義作
統監府通譯官　前間恭作
[illegible]
統監府通譯官　[illegible]
理事廳副理事官　高雄謙三
[illegible]　大枝[illegible]
[illegible]　佐藤金助

●保姆任用　京城幼稚園保姆を河合タル子は高等女學校附[illegible]

廣告

韓國京城
株式會社 第一銀行
電話番號　營業用 一一一番　當直用 國庫用 六二番　營業用 三三一番　生度用 分析所用 六二二番
本店　東京市日本橋區兜町
内地支店、出張所　大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、大阪西區、東京新大阪町
韓國支店、出張所　仁川、釜山、元山、鎭南浦、群山、平壤、木浦、大邱、開城、成興、城津、馬山、鏡城
清國安東縣
右爲替取引先あり
此の外内外各地重要なる場所に營業事務に關する御用向は當店營業課長に御相談被下度候

醫學得業士 伊藤助先生貳拾年間苦辛經驗 千試萬驗
驚く可き一大發明
●たむし、いんきんしつ特効藥●
官許 たむし丸（内用藥）一名(一ヶ月丸)
本劑は塗り藥に非ずして輕症は十日乃至二十日間連服重症と雖も三十日乃至四十日間連服に依り根治し再發且つ内攻の患ひなからしむ
藥價　五日分五拾錢　十日分九十錢　廿日分一圓六十錢　三十日分二圓十錢
遠地患者御注文の節は送料八錢但代金引換ならば小包料廿二錢を以て直に送藥す
發賣本店　東京市日本橋區浪花町廿一(浪花局隣)　龍雲堂藥舖
(電浪四〇六一番)振替口座一四、〇七三番
東京特約大販賣店　日本橋區米澤町二丁目一番地　吉田萬珠堂藥局
(電浪一登三入)振替口座二三〇六番
●賣捌所は全國到る處有名なる藥店に取次無之候ときは本舖へ向け御注文を乞ふ
●請賣御望の方は本舖並に特約店に御申込被下候はゞ特に御相談可申上候

謹告
エジプト莨及マニラ葉卷其他煙草類各種
西洋雜貨洋酒洋菓子並に支那糖菓及紅茶
在韓清國人
大連、安徽
湖北、江南 彩票發賣
●但彩票者每月一回抽籤●
京城水源橋二宮街
各國雜貨商 源源號

趣味
第三年第四號　定價壹部拾五錢　郵稅貳錢
日本の文藝と著述　ケーベル博士
旅中雜記　岩野泡鳴
音樂家の腹藝　今井塵松
一家の主人(小說)　田山花袋
井戸(小說)　岡本靈華
强者(脚本)　山田桂華
驕兒(小說)　中村星湖
鎌倉まで(小說)　眞山青果
代表的短歌　柴舟薰園
露文學と日文學　馬場孤蝶
との交渉　昇曙夢
華の葉　水野葉舟
ストライキ　平木白星
税吏　前田林外
茅ヶ崎行　島影没人
不思議譚　黃子松
趣味俳壇　虛子
歌舞伎物語　しぐれ
競馬の話　押川春浪
理想の家屋建築　佐治實然
諸國書生氣質　信陽館主人
庭球界評判記　老風
文藝閒語　旋撰子
伊井蓉峰　伊井蓉峰
役々の心意義　市川團藏
東京麴町區飯田町　易風社　振替一〇三二四番

謹啓
會席御料理 開業御披露
いつのほどにや、さぶ空も何方へかさり、雪にさされし諸花も今我先きと笑ひそめ、きそひ爭ふ、しをらしさ、彌生の花の各位樣、はなと花との咲きくらべ、みやびは外にならびなき花香にひかれ遠近の小鳥も此所に集りて、さへづる聲に雅をそへて瓢さともに足かるく御遊願ふは京城の奬忠壇につらなりし寶六庵の花園へ宴遊會のじゆんびも有り梅に櫻に桃にふじ数株を植込みて入浴は御勝手辨當も御持參ながら山遊び御こゝろ安いと見はらしと景色のよいのか第一で我も〳〵と手を取つて御引立を希願ふ
冬さつて瓢のちりを拂ひけり
京城東四軒町(奬忠壇の東)
寶六庵
(電話二一一四番)

日本澤庵
味噌醬油製造
乾物荒物鑵詰
銘茶食料雜貨
漬物問屋　京城本町五丁目　大上商店　(電話二五一番)

興信事務及
未墾地鑛山測量並設計
土地家屋等諸種之紹介
鑑定及調査
廣告之取次
(業務、迅速、取扱)
京城興信所支局
京城旭町一丁目民團役所向角

夏物新着荷大賣出し
空氣呼鈴並に室内電話
斬新流行の洋傘やねくたい其の他歐米雜貨各種荷着致し候間御觀覽旁々當店へ御來店有られん事偏に乞願奉り候敬具
韓國京城本町六丁目
歐米雜貨商 中節支店

▲電車割引券發賣
▲電車割引券
▲龍山線區域改正
▲電車發着時間改正

四日一日より鐘路本社及龍山電車停車場にて發賣す
六十枚綴一冊に付金二圓八十五錢何れの區域にも使用し得べし
四月一日以後は南大門驛前を境界點とし同點より鐘路及龍山迄を各一區域とす
四月一日以降は夏期時間表に依り電車を運轉す

韓米電氣會社

金口土耳其煙草大賣出し
四月一日より同十五日迄

駐劄軍交代兵士入京を祝せんが爲め四月一日より同十五日まで品質佳良香氣馥郁たる金口眞正土耳其煙草特別原價大賣出し致候間どし／＼御來駕御試煙の上御買上げ被下度此段願上候敬具

但御試煙の烟草代は頂戴不仕候

京城本町一丁目
トルコ煙草日本商會

會席御料理
並ニ仕出し
京城壽町一丁目
香川亭

●大勉強廣告●
○うなき蒲燒○會席御料理
○うなどん○親子どんぶり
本町座前大和湯向
きく紋
電話九百五十四番

開店御披露
御料理
並に壽き燒かしわ
新築落成仕候に付き本月二十九日より開業候間續々御來車被下度奉願上候 敬具
京城南山町三丁目
○勝

銀行一般の業務精々御便利に御取扱可申候
資本金三百万圓
本店 大阪市西區北堀江通五丁目
支店 釜山 仁川 平壤 鎭南浦 安東縣
株式會社第五十八銀行京城支店（電話五八番）

爲替取組先
畿內 二十七ケ所
東山道 十三ケ所
山陽道 七十五ケ所
南海道 二十三ケ所
北海道 五ケ所
臺灣 二ケ所
東海道 二十八ケ所
北陸道 十ケ所
山陰道 三十三ケ所
西國 三ケ所
韓國 九ケ所
清國 一ケ所

一各種石炭大販賣
大の浦塊炭
豆田塊炭
大辻塊炭
ストーブ用として右三種取寄せ貯炭罷在り御希望に從ひ多少に拘はらず迅速御屆け可申上候
三池粉炭
鍛冶用として貯炭罷在り多少に係はらず御用に應し可申候
當社一手販賣炭左之通り
三池、田川、伊田、山野、金田、豆田、津波黑、藤棚本洞、大の浦五尺、大の浦三尺、笹原、滿の浦芳雄、大辻、白岩、柚木原、岸嶽等
三井物產合名會社
京城出張所（電話二十六番）
仁川出張所（電話六十三番）

臨時移轉廣告
今般改築中當分本町四丁目淵上商店內及ひ第一銀行橫手の二ケ所に於て臨時營業仕候間不相變御引立の程伏て奉懇願候
以上
京城本町四丁目
內外藥品
有名賣藥
卸小賣商
近藤貴生堂藥房
（電話一一三八番）

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 八拾萬圓
京城南大門通（電話四二〇）
株式會社十八銀行京城支店
本店 長崎市樂町
支店出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
日本 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
其他日本韓國樞要地及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢四厘）
長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

本店 仁川理事廳通（電話三二一番）
支店 京城南山町（電話一〇七番）
原金旅館

拾有八年の實驗
最新學術の應用
齒科醫 勳六等
京城南山町三丁目
楢崎東陽
（日本人倶樂部向）

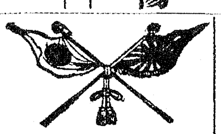
和洋御料理
並に かきかまめし
外に洋食、すし
一皿ニ付金十五錢
京城本町五丁目釘本商店前入
あづまや

珍店江戸子流
東京下駄
仁川宮町二丁目
成田屋
電話一八二



極 材木、竹類、煉瓦
座敷廻り諸材料特に注意取揃あり
右本年は多額輸入可仕特別廉價販賣仕候間多少に不拘御用命願上候
小森材木部
京城旭町一丁目
電話七四四番
本宅四〇五番

家庭の娛樂用 蓄音器賃貸
壹席金五圓也
（但し音譜二打附其他は一打を增す每に金二圓增受す）
叮嚀に店員を派して其技術に當らしむ
右廣告す
東京三光堂韓國總代理店
京城 辻屋
電話 本店二四八番 支店三六六番



會席御料理
並に仕出し
京城本町一丁目
曙亭

○開店御披露○
○惣菜御料理○
○べんとう○
○茶めし○
其外御好に應じ仕出し可仕候
方樣御待兼ねの御料理愈々相始め申候
通人々御來駕御玩味奉願候
に付京城南山町四丁目
魚芳內
甲子
（電話四二八）

理髮移轉開業
弊店義是迄明治町に於て營業致し居候處今般左記の所に移轉從前の通營業仕候間相變らず御愛顧の程伏て御願申上候
高等理髮館 床秀（南門湯前）
○本館の特長 本館に於ては御理髮に相成りたる御方は衞生を重んじ其都度直に南門湯御入浴の便を有す且他店に於て如何に撰れぬ髭にても意の儘に剃る可し
●親切にして叮嚀なるは本館の特色なり●

小兒科
內科
梅毒科
入院隨意
京城壽町三丁目
阪井病院
（電話二一六番）

易斷相鑑定及敎授
本町六丁目
黃文閣

會席御料理
並に仕出し
西小門內
橫濱亭

開店御披露
和洋會席御料理
並に仕出し
右今般開店仕り大勉强且親切丁寧を旨と致候間賑々敷御光來の程奉願候
京城竹園町一丁目一番地
三遊樓

日本 法律學士 岩本英夫法律事務所
京城本町二丁目八十四番戶（電話六四二番）
仁川港新町一丁目九十七番地（電話五二七番）

日本郵船株式會社
仁川瀛船出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通
郡回漕會（電話三九番）
京城南大門通
巴商店（電話三〇六番）

●釜山長崎門司神戸行 山東丸 四月十二日 後三時出
●群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行 第一オハヨ號 四月十一日 後三時出
釧路丸 三月 日 後三時出
●大連、大沽、牛莊行 高砂丸 四月九日 後一時出
山東丸 三月卅一日 前十一時出
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 四月廿三日 後一時出
●鎭南浦行 第一オハヨー號 四月八日 後三時出
●釜山出帆、元山行 弘前丸 四月一日
御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ事